

中間支援活動助成(創設)事業 実績報告

団体名	(一社)パートナーズ	代表者名	(職名) 担当理事	(氏名) 河野 真紀
事業名	孤立しがちな子育てを地域と社会につなぐ中間支援事業			

< 事業実施実績 >

	相談業務 延べ回数/団体数	ネットワークの構築 ・ 情報提供 件数	人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回数	書類作成指導 件数	その他 (調査研究等) 件数
R 6 計画	20回/5団体	50件	100人/18回	3件	
R 6 実績	60回/8団体	50件	200人/93回	20件	

< 効果と成果 >

主に子育て世代のスタートアップ、「こどものための活動」の企画運営の中間支援に特化して取り組むことで、地域のこどもたちの多彩な体験活動の機会が増えました。定期開催の居場所開放など他の支援事業との相乗効果もあり、孤立しがちな子育て世代の地域との新しい接点生まれ、結果的には世代を超えていつでも相談できる居場所の創出につながりました。

コロナ渦の影響も減り、どの世代においても外出の機会が増えていたため、多世代交流の居場所づくりに尽力しました。ルールや時間に必要以上にしばられることのない活動場所をシェアできたことで、各団体の活動がゆるやかに継続できました。新たな場所での活動も増え、団体間のつながりが、別の校区へも派生しました。

大人の発達障害の自助グループとのつながりもでき、当事者ではないが、家族が発達障害の方との接点が生まれたことが有意義でした。

< 連携と協働の成果 >

兵庫区で活動する子育てサークル2団体には継続的に活動拠点を提供し、交流会には協働で参画していただきました。イベントの開催時に、兵庫区地域協働コーディネーターさん、市議員さん、子育てコーディネーターの方の来所もあり子育て世代の参加者さんの意見交換の場が生まれました。

わが子の成長とともに、子育てサークル以外に、放課後の学習支援を立ち上げた人も生まれ、地域の居場所が増えました。ダウン症や発達障害をもつ子育ての親の会でありピアサポート団体(MomLabo)とは、相談支援においても連携し多様で困窮度が高い相談の解決に向けて、情報共有などで連携を継続しています。

兵庫駅南公園こどもフェスタ実行委員会の、兵庫区こどもプロジェクト事業と連携協力し、地域の官民を超えたつながりの強化、および広報の相互協力を継続しています。

兵庫区以外で地域活動する方たちの来所も増え、助成金情報や地域協働についての情報共有の場ともなりました。

< 今後の展望 >

スタートアップの団体や、家族や本人が心身の困難や障害を抱える人の所属する団体が、安心安全に、柔軟に活動できる活動場所は、まだまだ限られており、シェア利用を継続する必要性を痛感しています。

広報活動を継続し、地域活動を始めたばかりの支援対象となる団体や個人に、支援が行き届くように積極的にアプローチをしていきます。1つの団体や個人レベルで実現できることは限られてしまうこと、また広報や集客に対するそれぞれの苦労など、共通する課題の解決に向けて、共に相談し合い協力するための、さらなるネットワーク強化に努めていきます。

また情報機器の整備に努め、書類作成指導業務のレクチャーやサポートを推進していきます。

共働き世帯、あるいは困窮世帯の増加もあり、中間支援の対象となる子育て世代の地域プレイヤーが減少している印象があります。ただ防災の観点からも日ごろからの地域のつながりづくりは必須のため、少人数であっても意欲あるプレイヤーへの継続的で粘り強い支援を行っていきます。

<収支決算書>
(収入)

項 目	金 額 (円)
中間支援活動助成金	4 0 0 , 0 0 0
自己資金等	1 7 , 0 9 2
合 計	4 1 7 , 0 9 2

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	1 1 4 , 0 0 0	1 1 4 , 0 0 0
	消耗品費	6 1 , 5 6 7	6 1 , 5 6 7
	広報宣伝費	1 2 6 , 5 2 5	1 0 9 , 4 3 3
	その他 (委託費等)	6 0 , 0 0 0	6 0 , 0 0 0
	小 計	3 6 2 , 0 9 2	3 4 5 , 0 0 0
間接経費 (一般管理費)		5 5 , 0 0 0	5 5 , 0 0 0
合 計		4 1 7 , 0 9 2	4 0 0 , 0 0 0